

Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community

Vision: Global Leading Engineering Partner

Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team

経営方針

2014年3月期 第2四半期

2013年11月13日

東洋エンジニアリング株式会社

取締役社長 石橋 克基

1. 通期業績概要
2. インドネシア肥料プロジェクトのフィードバック
3. 上期受注実績
4. 下期注力分野
5. 受注目標

＜参考＞インドネシア肥料プロジェクト概要

1. 通期業績概要

- ◆ 上期損失計上原因
 - インドネシア肥料プロジェクト損失拡大
 - 工事BQ増加・単価アップ
 - 工期挽回のための増員・管理費増加

- ◆ 通期見込み
 - インドネシア肥料プロジェクトの収支悪化は上期で収束
 - 見込まれる損失は上期に引当済
 - 完了まで、現地に役員派遣・現場管理徹底
 - 現地工事は改訂スケジュール通りに進行
 - 年度受注目標額：期初見込み通り

- ◆ 課題：海外拠点との協業プロジェクト体制強化
- ◆ 対応策：
 - プロジェクト管理手順の厳格適用
 - シームレスなグローバルプロジェクト運営体制の確立
 - 拠点業務への本社関与強化
 - 拠点プロジェクト部門の強化
 - リモート・マルチオフィス業務のコミュニケーション強化

3. 上期受注実績

◆ 連結受注：1,706億円

	重点地域	開拓地域
従来事業	<ul style="list-style-type: none">● エジプト ポリエチレン● インドネシア エチレン能増● ブラジル水素(*)	<ul style="list-style-type: none">● 米国 ポリエチレン(FEED)● 米国石化(詳細設計)
強化事業	<ul style="list-style-type: none">● ブラジル FPSO トップサイド(*)	<ul style="list-style-type: none">● カナダ オイルサンド● イラク 資源開発GESA
育成事業	<ul style="list-style-type: none">● 水インフラ事業(FS)	

50%出資の持分法適用会社の当社持分見合い受注額： 977億円 (上表*印)

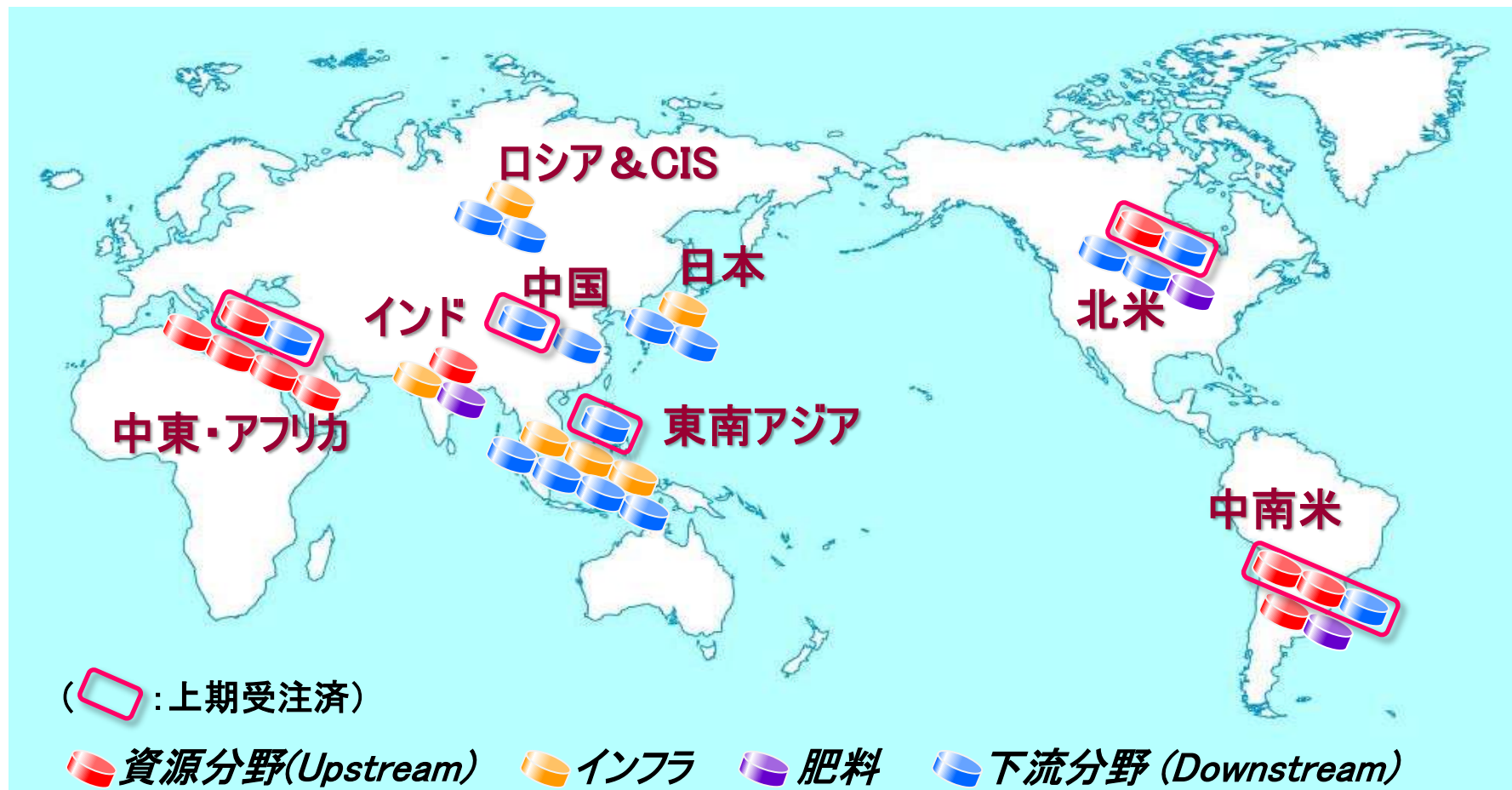
GESA: General Engineering Service Agreement、包括技術サービス契約

4. 下期注力分野

- ◆ 肥料、エチレン案件
- ◆ 北米シェールガス関連案件
- ◆ ブラジル拠点案件
- ◆ ロシア・CIS、イラク案件
- ◆ 資源上流分野
- ◆ BASFとのアライアンス案件

5. 受注目標

◆ 連結受注目標： 3,300 億円





東洋エンジニアリング株式会社

URL <http://www.toyo-eng.co.jp>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR室長 佐藤研司

電話 047-454-1681

E-mail ir@ga.toyo-eng.co.jp

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。

<参考> インドネシア肥料プロジェクト概要

- ◆ 客先: 国営肥料会社 KALTIM社
- ◆ 建設地: インドネシア・カリマンタン島東部ボンタン
- ◆ 設備: 日産2,700トンアンモニアプラント
日産3,500トン 大粒尿素プラント 及び付帯設備
- ◆ 役務範囲: EPC一括請負
- ◆ 契約者: TOYOとIKPTとのコンソーシアム
IKPTは2012年2月、TOYOの連結子会社化
- ◆ 契約金額: 約500億円
- ◆ 完成予定時期: 2014年10月頃
- ◆ 各社の役割: Toyo-Japan(日本): プロジェクトマネジメント
Toyo-Korea(韓国): 基本設計、海外調達
IKPT(インドネシア): 詳細設計、国内調達、現地工事